

消費者物

大型株

金融緩和

TOPIX

反発力

銘柄

ファンド
マネジャー
が語る

次の一手

～日本株の可能性～

中小型株

米国株

国債

利上げ

日本株

超過収益

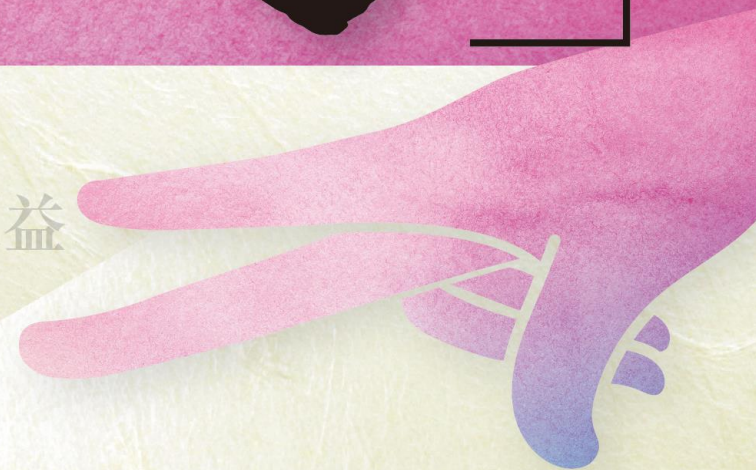
長期金利

円高

インフレ

円安

株価指数



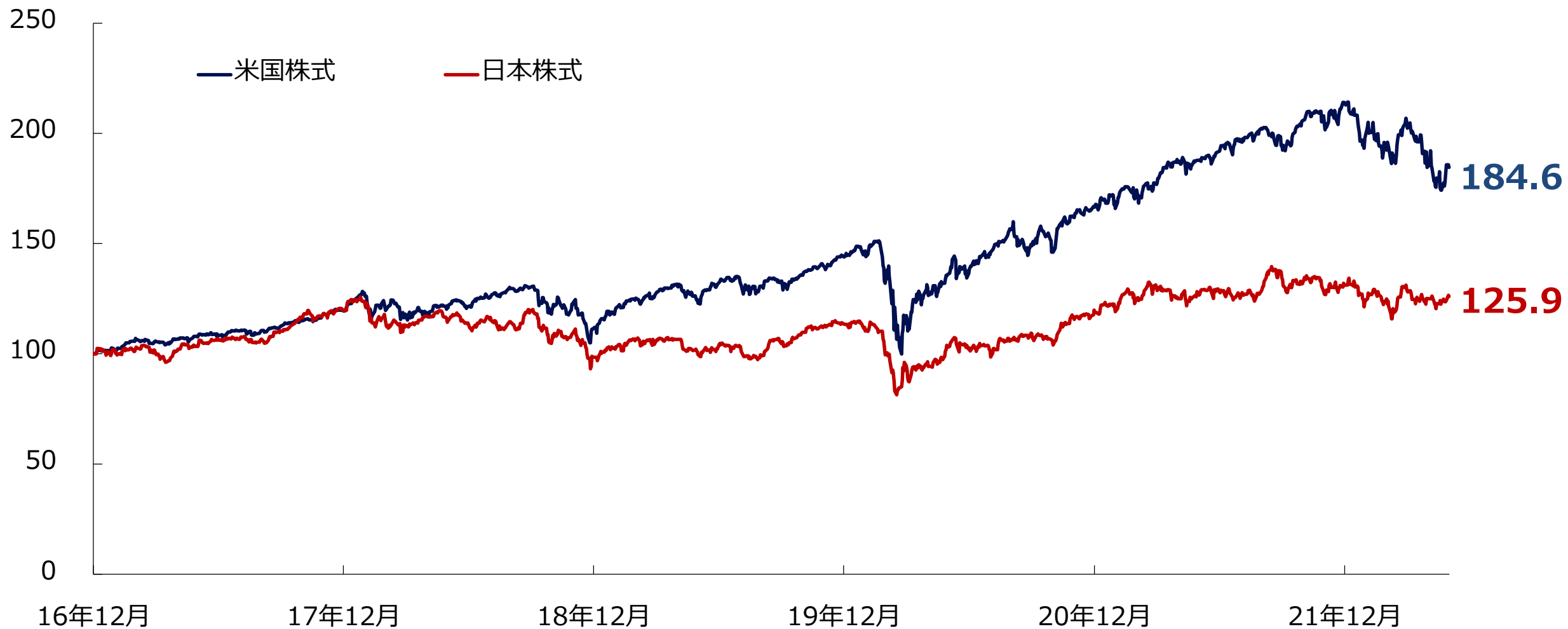
ご注意事項

(必ずお読みください)

- 当セミナーは販売会社が主催しています。
- 当資料はアセットマネジメントOne株式会社がお客さまの商品の理解を深めていただくために情報提供を目的としております。
- アセットマネジメントOne株式会社は、お客さまと金融商品取引契約の締結を予定しておりません。
- 募集の取扱いおよび販売、投資信託説明書(目論見書)の交付等は、販売会社が行います。投資を行う際は、販売会社から十分な商品説明を受け、投資に係る最終決定はお客さまご自身でご判断ください。

セミナー資料 2022年7月

2017年以降の日本株式と米国株式の推移



※日本株式：東証株価指数（TOPIX）、米国株式：S&P500種指数（米ドルベース）
※期間：2016年12月30日～2022年5月31日（日次）、2016年12月30日を100として指数化。
出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

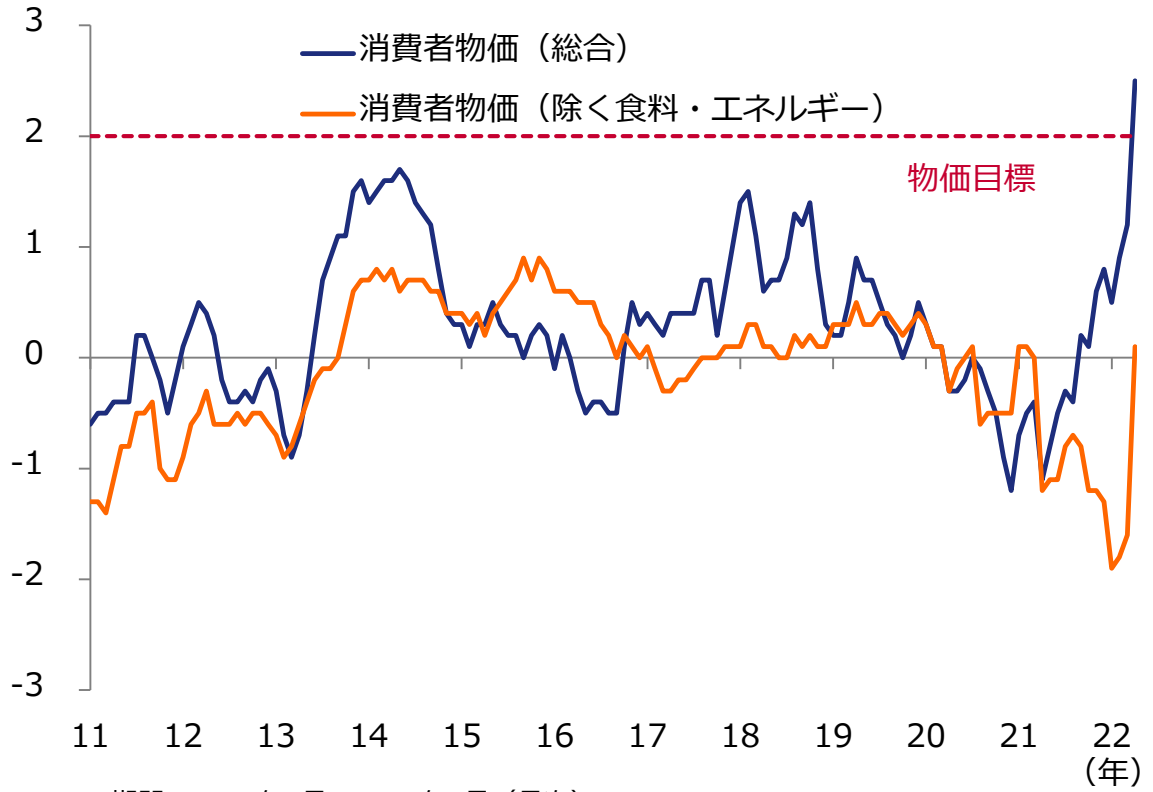
※上記は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

当資料に関するご注意や投資信託に係るリスクと費用等につきましては、該当ページを必ずご覧ください。

日本株を支える背景 ～日米のインフレ率～

日本

(前年同月比、%)

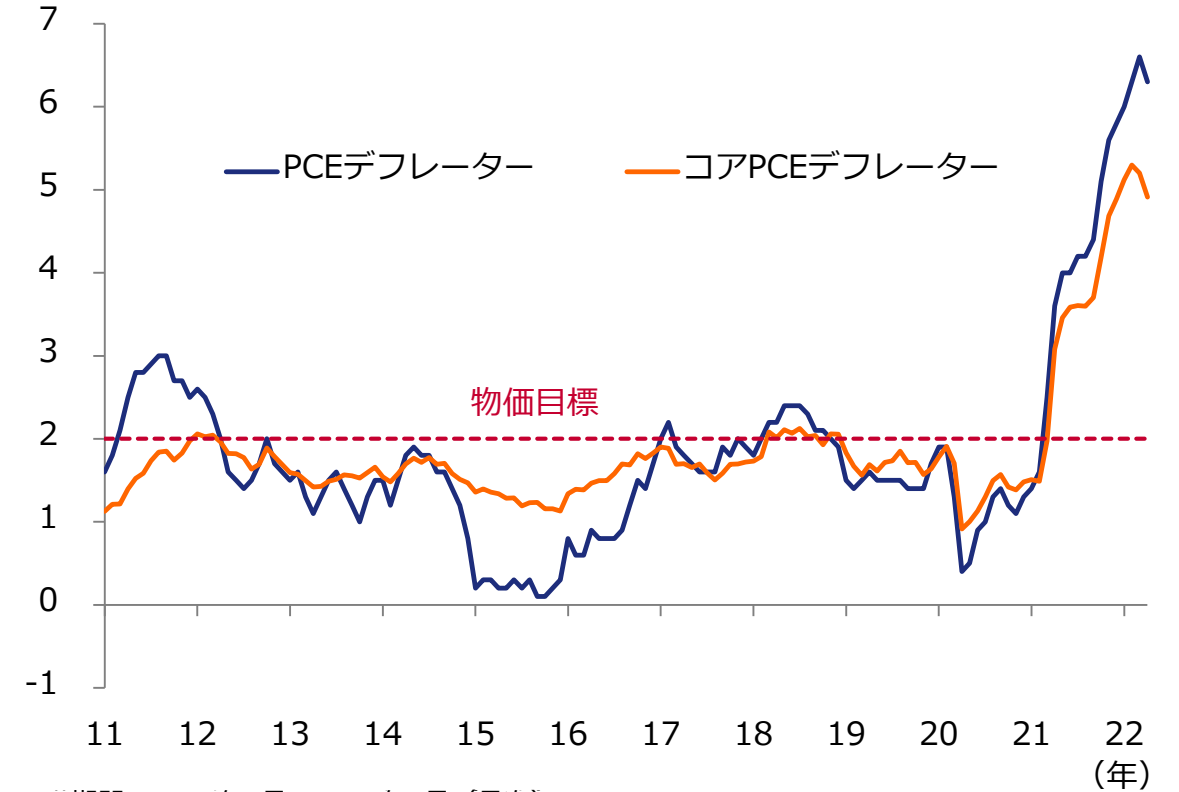


※期間：2011年1月～2022年4月（月次）
※グラフは消費税引き上げおよび幼児教育・保育無償化の影響を除いたベース

出所：総務省、ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

米国

(前年同月比、%)



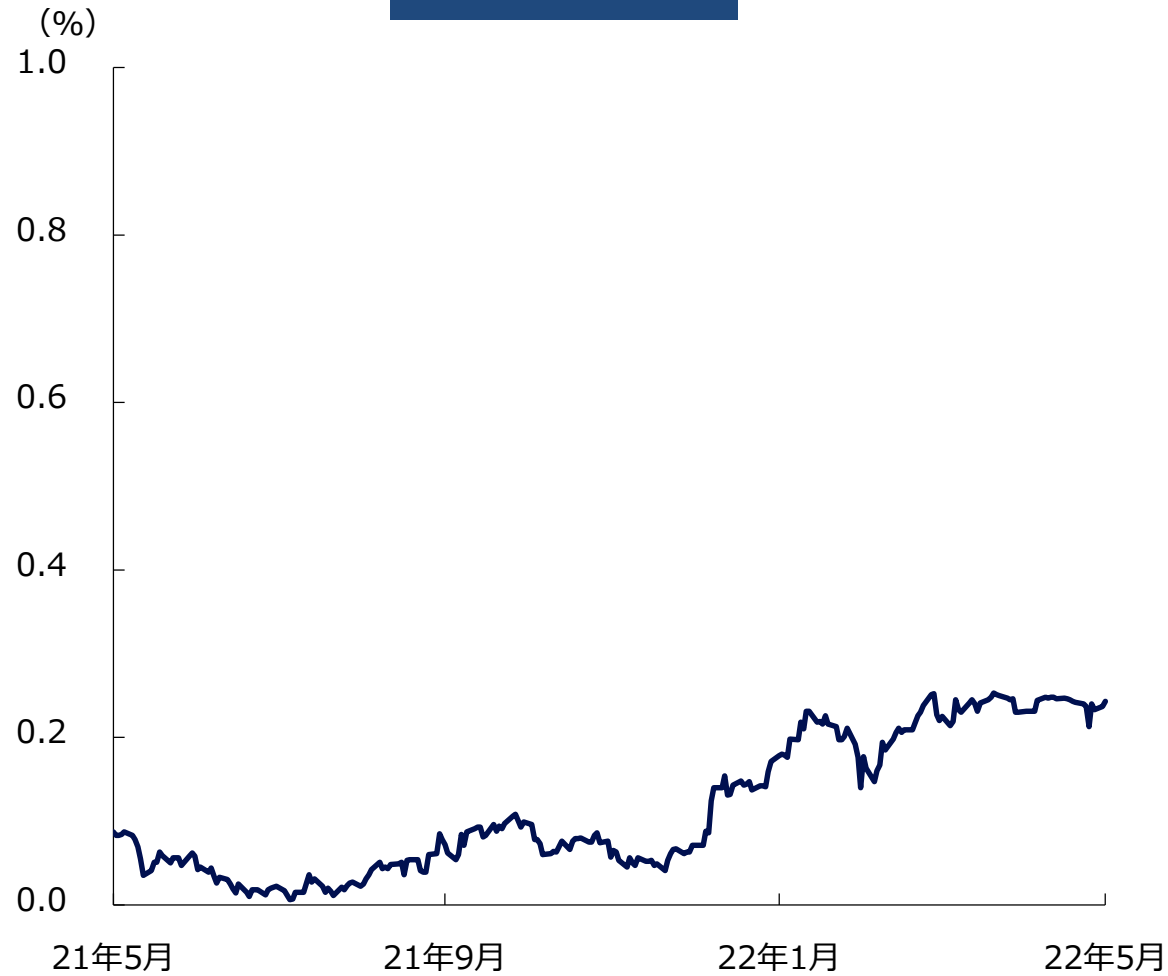
※期間：2011年1月～2022年4月（月次）

※上記は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

当資料に関するご注意や投資信託に係るリスクと費用等につきましては、該当ページを必ずご覧ください。

日本株を支える背景 ～日米10年国債利回り～

日本



米国



※期間：2021年5月31日～2022年5月31日（日次）

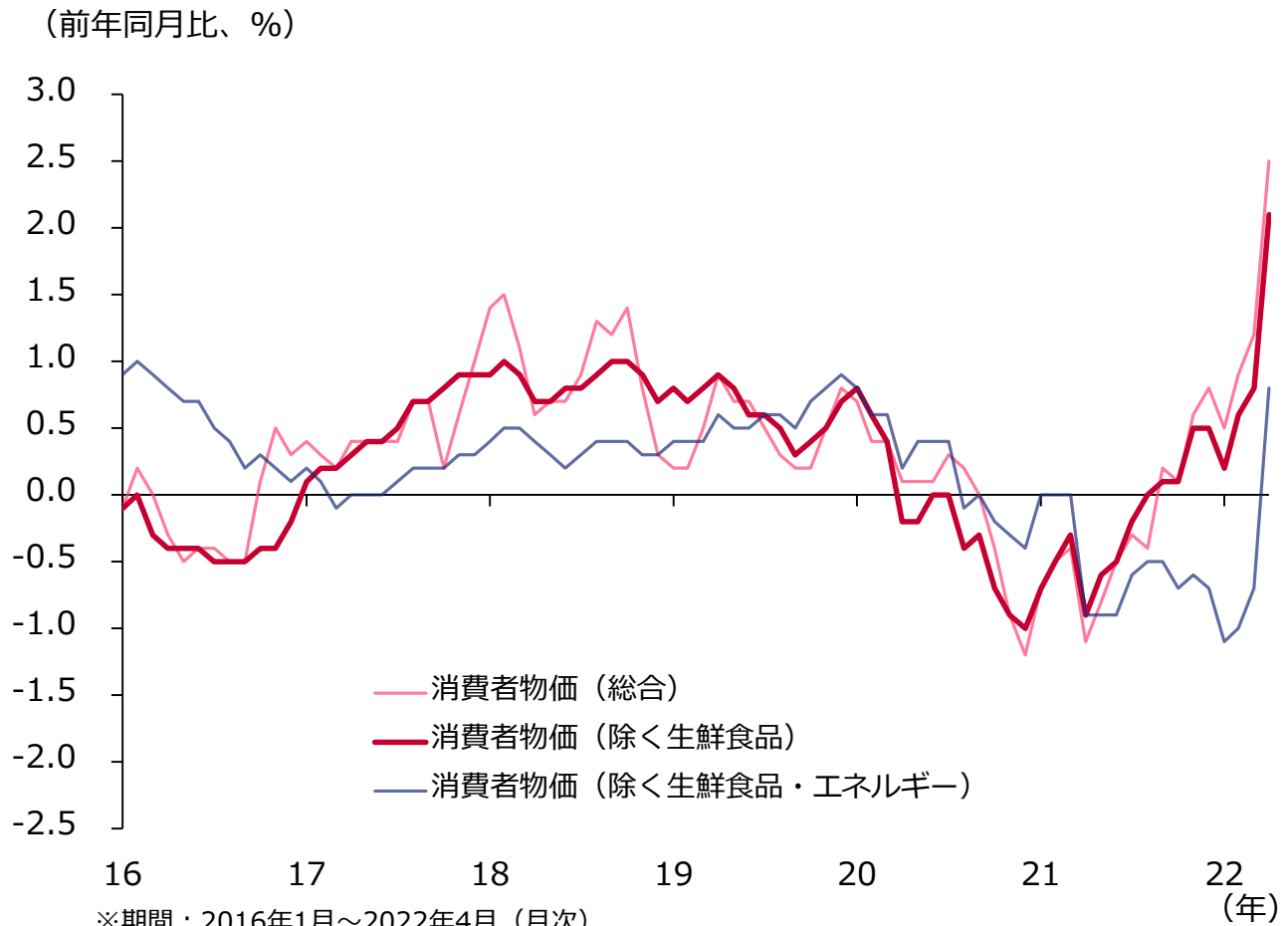
出所：ブルームバーグのデータのもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

当資料に関するご注意や投資信託に係るリスクと費用等につきましては、該当ページを必ずご覧ください。

日本株を支える背景 ～日銀の金融緩和姿勢～

消費者物価指数の推移



日銀政策委員による大勢見通し (2022年4月時点)

	除く生鮮食品	(参考) 除く生鮮食品 ・エネルギー
2021年度	+0.1	-0.8
1月時点の見通し	0.0～+0.1 <0.0>	—
2022年度	+1.8～+2.0	+0.8～+1.0
1月時点の見通し	+1.0～+1.2 <+1.1>	—
2023年度	+0.9～+1.3	+1.1～+1.3
1月時点の見通し	+1.0～+1.3 <+1.1>	—
2024年度	+1.0～+1.3	+1.2～+1.5
	<+1.1>	<+1.5>

※1月時点の見通しは2022年1月時点の見通し
 ※データは対前年度比、%。なお、< >内は政策委員見通しの中央値
 ※「大勢見通し」は、各政策委員が最も蓋然性の高いと考える見通しの数値について、
 最大値と最小値を1個ずつ除き、幅で示したものの。その幅は、予測誤差などを踏ま
 えた見通しの上限・下限を意味しない。2021年度の消費者物価指数は実績。
 出所：日銀の資料のもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

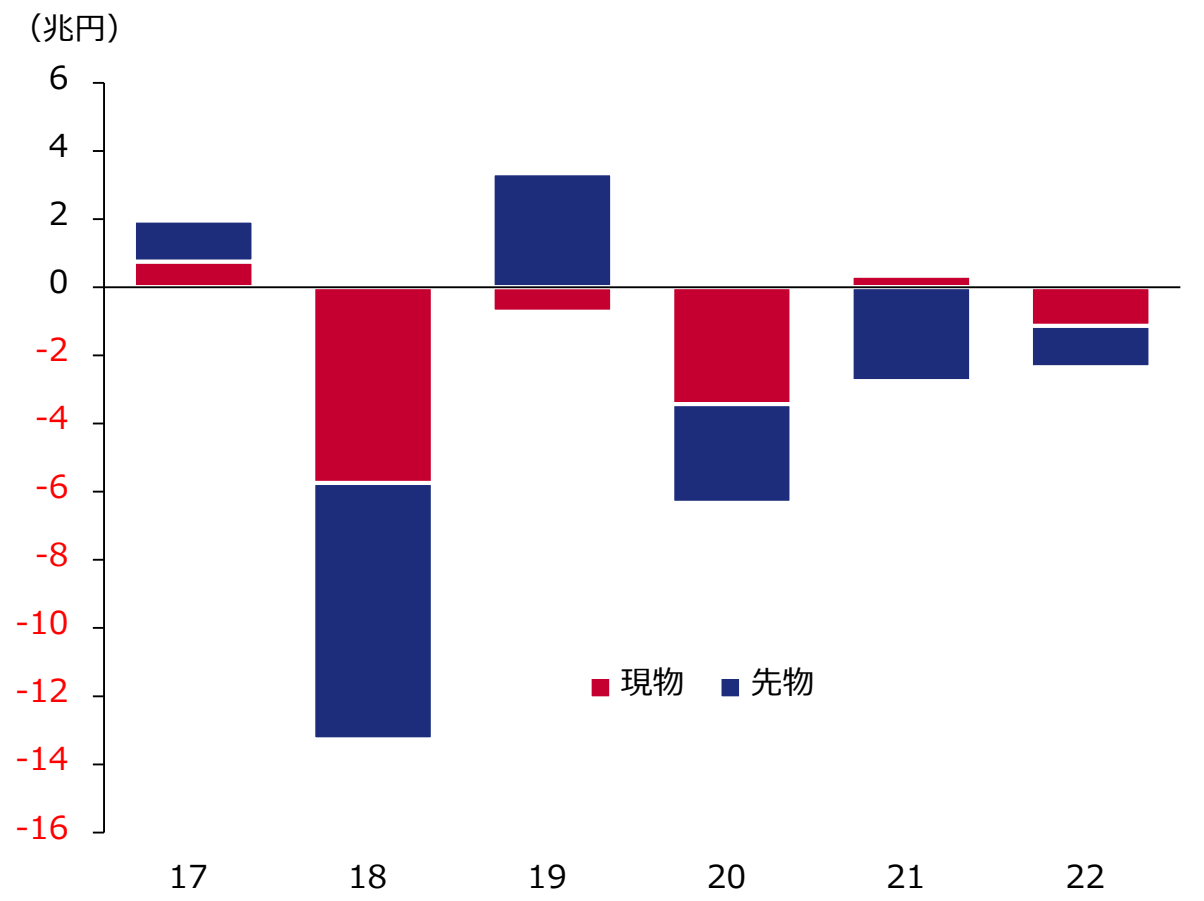
当資料に関するご注意や投資信託に係るリスクと費用等につきましては、該当ページを必ずご覧ください。

日本株を支える背景 ～円安は株高につながるか～

米ドル/円



海外投資家の日本株売買動向



出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

当資料に関するご注意や投資信託に係るリスクと費用等につきましては、該当ページを必ずご覧ください。

東証の市場区分変更（2022年4月4日実施）

旧市場区分

市場第一部

市場
第二部

マザーズ

JASDAQ

スタンダード

グロース



新市場区分

プライム市場

スタンダード
市場

グロース市場

出所：東京証券取引所の情報をもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

当資料に関するご注意や投資信託に係るリスクと費用等につきましては、該当ページを必ずご覧ください。

大型株と中小型株



※上記は一例であり、すべてを示すものではありません。

当資料に関するご注意や投資信託に係るリスクと費用等につきましては、該当ページを必ずご覧ください。



愛称

One国内株オープン 〈愛称：自由演技〉

追加型投信/国内/株式

運用主担当者

酒井 義隆

運用本部 株式運用グループ

公益社団法人日本証券アナリスト協会検定会員（CMA）

2004年、興銀第一ライフ・アセットマネジメント株式会社（現アセットマネジメントOne株式会社）に入社。2005年12月より国内株式やオルタナティブ運用に従事する。

2019年2月以降の自由演技の対TOPIX超過収益

6ヵ月間保有した場合の対TOPIX超過収益の推移



※期間：2019年2月末～2022年2月末（月次）

※各月末時点の6ヵ月前から当ファンドに投資した場合のそれぞれの投資収益率から同期間のTOPIXを差し引いたものです。

出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

当資料に関するご注意や投資信託に係るリスクと費用等につきましては、該当ページを必ずご覧ください。

自由演技と規模別株価指数のパフォーマンス比較



※期間：2017年3月31日～2022年3月31日（日次）
 ※当ファンド：分配金再投資基準価額、大型株：TOPIX 100（TOPIX算出対象のうち、時価総額、流動性の特に高い100銘柄）、中型株：TOPIX Mid400（TOPIX 100について、時価総額、流動性の特に高い400銘柄）、小型株：TOPIX Small（TOPIX算出対象から、TOPIX 100、TOPIX Mid400の構成銘柄を除いた銘柄）を使用。
 出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成
 ※大型株：TOPIX 100、中型株：TOPIX Mid400、小型株：TOPIX Smallは、当ファンドのベンチマークではありませんが、当ファンドでは投資環境に応じて、大型、中小型などといった視点で資産配分を行うため、比較を行っています。

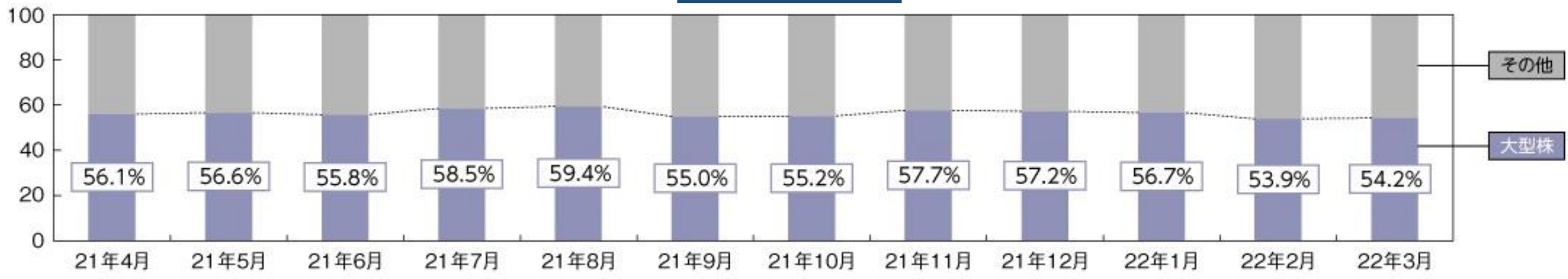
※上記は過去の情報または運用実績であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

自由演技の大型株比率の推移

2020年度



2021年度

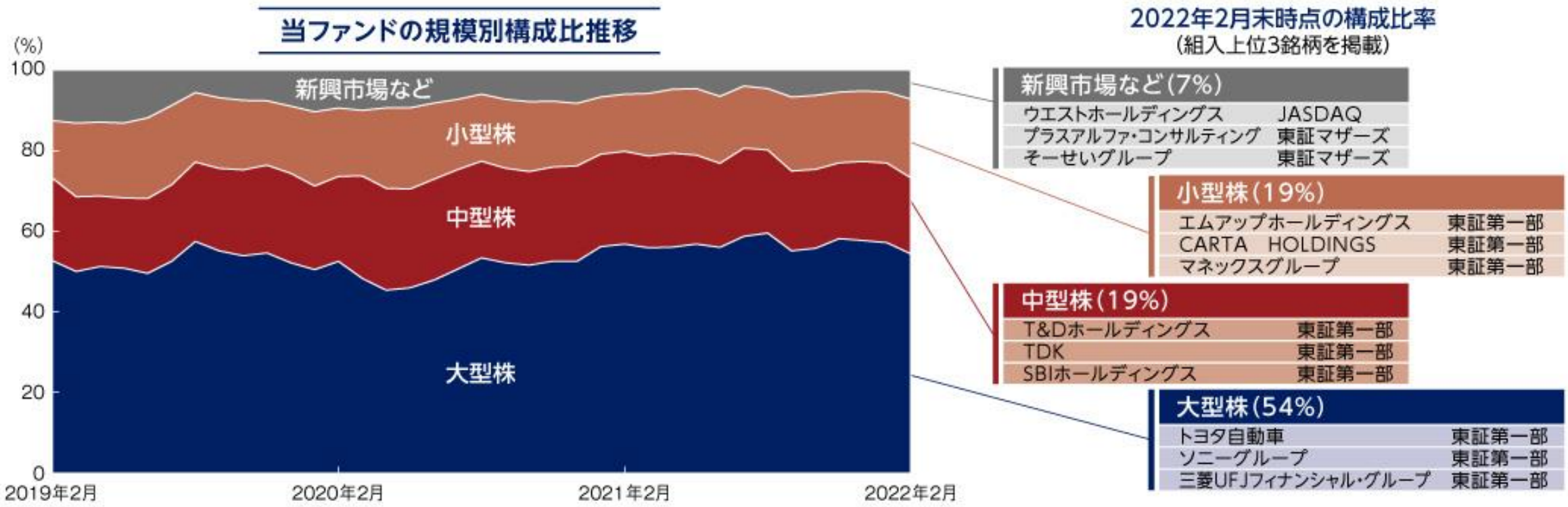


※期間：2020年4月末～2022年3月末（月次）
 ※大型株：当ファンドに組み入れられている銘柄のうち、TOPIX 100に含まれる銘柄を分類したもの。
 出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

当資料に関するご注意や投資信託に係るリスクと費用等につきましては、該当ページを必ずご覧ください。

自由演技の規模別構成比推移



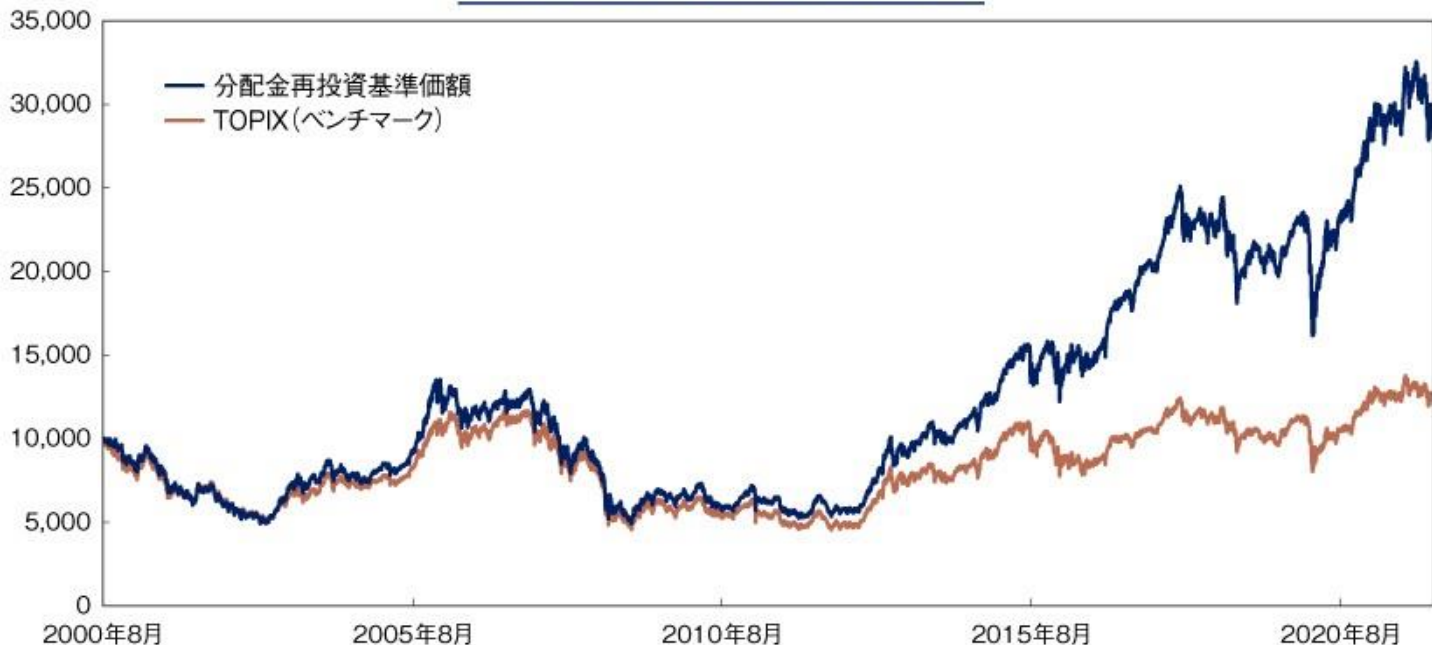
※期間：2019年2月末～2022年2月末（月次）
 ※東証第一部上場銘柄のうち、TOPIX 100を大型株、TOPIX Mid400を中型株、TOPIX Smallを小型株、東証第一部以外（東証第二部、東証マザーズ、JASDAQなど）の銘柄を新興市場などとして分類しています。
 ※上記比率は、株式ポートフォリオに対する割合です。
 ※上記比率は四捨五入のため、合計が100%とならない場合があります。
 出所：東京証券取引所のデータをもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

当資料に関するご注意や投資信託に係るリスクと費用等につきましては、該当ページを必ずご覧ください。

自由演技のパフォーマンス推移

分配金再投資基準価額とTOPIXの推移



過去3年の分配金実績(税引前)

第19期(2019年8月29日)	0円
第20期(2020年8月31日)	0円
第21期(2021年8月30日)	0円
設定来累計分配金	200円

※分配金実績は、1万口当たりの税引前分配金を表示しています。
 ※運用状況によっては分配金が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。上記は過去の実績であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆・保証するものではありません。

騰落率

	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年	10年	15年	20年	設定来
ファンド	-5.60%	-2.46%	3.70%	38.54%	57.40%	360.47%	135.36%	342.83%	188.64%
TOPIX	-2.15%	-3.76%	1.20%	17.37%	22.90%	125.72%	7.66%	86.12%	22.55%
差	-3.45%	1.30%	2.50%	21.17%	34.50%	234.75%	127.70%	256.70%	166.08%

※期間：2000年8月29日（当ファンド設定日前営業日）～2022年2月28日（日次）
 ※分配金再投資基準価額は設定日前営業日を、TOPIXは当ファンド設定日前営業日の終値を10,000として計算しています。
 ※分配金再投資基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後の価額です。換金時の費用・税金などは考慮していません。
 ※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を当ファンドに再投資したとみなして計算した理論上のものであり、実際の基準価額とは異なります。
 ※ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとして算出していますので、実際の投資家利回りとは異なります。各期間は、基準日（2022年2月28日）から過去に遡っています。
 また、設定来の騰落率については設定当初の投資元本をもとに計算しています。
 ※TOPIXは東証市場再編に伴い、2022年4月4日付で指数の算出要領が変更されました。
 出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去の情報または運用実績であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

自由演技における個別銘柄選択事例①

銘柄事例：オープンドア（旅行サービス運営）

国内・海外旅行商品の比較サイト「トラベルコ」を運営。コロナ禍における定額給付金の配布や本来消費に回るお金が預金等として積み上がっている状況下、新型コロナウイルス収束後には抑え込まれた需要の回復を受け、その恩恵を享受する可能性が高いと考え、組入れました。想定通り株価が上昇したため、利益確定を行いました。



※全売却の前月末時点の組入比率：0.57%（2021年5月末）

※期間：2020年6月30日～2021年6月30日（日次）

出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は当ファンドにおいて過去に行った個別銘柄選択における成功事例の一部を示したものです。当ファンドの個別銘柄の売買がすべて成功することを示唆・保証するものではありません。また、個別銘柄の推奨を目的としたものではありません。

※上記は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

自由演技における個別銘柄選択事例②

銘柄事例：USEN-NEXT HOLDINGS(音楽サービス展開、動画配信など)

店舗・施設向けの音楽サービスなどを展開。コロナ禍における巣ごもり需要から動画配信サービスが好調なことに加え、厚生労働省が健康保険証機能付きマイナンバーカードの普及を促進させる中、子会社が提供する医療機関向けの顔認証付きカードリーダービジネスの成長性が見込めるため、組入れました。想定通り株価が上昇したため、利益確定を行いました。



※全売却の前月末時点の組入比率：0.21% (2021年8月末)

※期間：2020年9月30日～2021年9月30日 (日次)

出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は当ファンドにおいて過去に行った個別銘柄選択における成功事例の一部を示したものです。当ファンドの個別銘柄の売買がすべて成功することを示唆・保証するものではありません。また、個別銘柄の推奨を目的としたものではありません。

※上記は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

今、酒井FMに聞きたい日本株の気になるところ

- 不確実性の高いマーケットを
日本株のFMとして
どう考えていますか？

今、酒井FMに聞きたい日本株の気になるところ

- 昨今の株主優待の見直しの動きについて、酒井FMはどう考えていますか？

今、酒井FMに聞きたい日本株の気になるところ

- 日本株ファンドは「次の一手」
となりませんか？

ファンドの特色

マクロの投資環境の変化に応じて投資スタイルを適宜変更します。

その局面でベストと思われる投資尺度を活用した銘柄選択を行います。

ある特定の「画一」的な運用スタイルではなく、相場動向に応じてベストと判断される「自由」な運用スタイルを適宜選択するファンドです。

投資方針

- ① One国内株オープンマザーファンドへの投資を通じて、わが国の上場株式に実質的に投資します。マザーファンドの組入比率は、原則として高位を維持します。また、株式の実質組入比率は、原則として高位を維持します。
- ② 通貨動向、景気指標ならびに市場関係指標等の調査に基づいた、マクロ投資環境の分析により投資判断を行います。
- ③ 投資環境の変化に応じて、成長系(グロース系)、割安系(バリュー系)、大型、中小型といった視点等から、その局面で最適と思われる投資スタイルに比重を置いた資産配分を行います。
- ④ 個別銘柄の選択は、利益成長、資本効率、キャッシュフローベースの企業価値等の視点から、成長力および割安性その他の要因を見極めて行います。
- ⑤ 東証株価指数(TOPIX)をベンチマークとします。

※資金動向、市況動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。

当資料に関するご注意や投資信託に係るリスクと費用等につきましては、該当ページを必ずご覧ください。

ファンドの投資リスク等

基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。これらの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。

株価変動リスク	当ファンドは、実質的に株式に投資をしますので、株式市場の変動により基準価額が上下します。また、中小型株式等に実質的に投資をする場合があります、これらの株式は、一般的に価格変動性が高いため、基準価額が大きく下がる場合があります。
個別銘柄選択リスク	当ファンドでは、成長系(グロース系)株式、割安系(バリュー系)株式、大型株式、中小型株式といった運用スタイル配分の結果による個別銘柄選択効果により超過収益を積み上げることが目標としているため、株式市場全体の動きとは異なる場合があります。個別銘柄選択リスクとは、投資した株式の価格変動によっては収益の源泉となる場合もありますが、株式市場全体の動向にかかわらず基準価額が下がる要因となる可能性があるリスクをいいます。
流動性リスク	当ファンドにおいて有価証券等を売却または取得する際に、市場規模、取引量、取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合には、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないことや、値動きが大きくなることがあり、基準価額に影響をおよぼす可能性があります。
信用リスク	当ファンドが実質的に投資する株式の発行者が経営不安・倒産に陥った場合、またこうした状況に陥ると予想される場合等には、株式の価格が下落したりその価値がなくなることがあり、基準価額が下がる要因となります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

ファンドの投資リスク等

分配方針

年1回の決算時(毎年8月29日(休業日の場合は翌営業日))に、配当収入および売買益(評価益を含みます。)等を信託財産に留保することを基本としつつ、委託会社が市場金利水準、市況動向、基準価額水準等を勘案して、分配金額を決定します。

- 将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- 分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

分配金に関する留意事項

- 収益分配は、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。))を超えて行われる場合があります。したがって、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 受益者の個別元本の状況によっては、分配金の全額または一部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。個別元本とは、追加型投資信託を保有する受益者毎の取得元本のことで、受益者毎に異なります。
- 分配金は純資産総額から支払われます。このため、分配金支払い後の純資産総額は減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中の運用収益以上に分配金の支払いを行う場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。

お申込みメモ (ご購入の際は、投資信託説明書(交付目論見書)をご確認ください。)

購入単位	販売会社が定める単位(当初元本1口=1円)
購入価額	購入申込受付日の基準価額(基準価額は1万口当たりで表示しています。)
換金単位	販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消す場合があります。
信託期間	無期限(2000年8月30日設定)
繰上償還	受益権口数が10億口を下回るようになった場合等には、償還することがあります。
決算日	毎年8月29日(休業日の場合には翌営業日)
収益分配	年1回の毎決算日に、収益分配方針に基づいて収益分配を行います。 ※お申込コースには、「分配金受取りコース」と「分配金再投資コース」があります。ただし、販売会社によっては、どちらか一方のみの取扱いとなる場合があります。詳細は販売会社までお問い合わせください。
課税関係	当ファンドは課税上は株式投資信託として取り扱われます。原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。 ※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。 ※税法が改正された場合等には、上記内容が変更となる場合があります。

お客さまにご負担いただく手数料等について

詳細については、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

ご購入時	ご購入時手数料	購入価額に 3.3%（税抜3.0%） を上限として、販売会社が定める手数料率を乗じて得た額となります。 ※くわしくは販売会社にお問い合わせください。
ご換金時	換金時手数料	ありません。
	信託財産留保額	換金申込受付日の基準価額に 0.3% の率を乗じて得た額とします。
保有期間中 (信託財産から間接的に ご負担いただきます。)	運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対して 年率1.76%（税抜1.60%）
	その他の 費用・手数料	組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の諸費用、外国での資産の保管等に要する費用、監査費用等が信託財産から支払われます。 ※ その他の費用・手数料については、定期的に見直されるものや売買条件等により異なるものがあるため、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※上記手数料等の合計額等については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となる場合があります。

委託会社その他関係法人の概要

委託会社	アセットマネジメントOne株式会社 信託財産の運用指図等を行います。
受託会社	三井住友信託銀行株式会社 信託財産の保管・管理業務等を行います。
販売会社	募集の取扱いおよび販売、投資信託説明書（目論見書）・運用報告書の交付、収益分配金の再投資、収益分配金、一部解約金および償還金の支払いに関する事務等を行います。

ご注意事項等

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
- お申込みに際しては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。
- 当ファンドは、実質的に株式等の値動きのある有価証券に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は
 - ①預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
 - ②購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
 - ③投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

《 指数の著作権等 》

- 東証株価指数（TOPIX）、東証規模別株価指数の指数値および東証株価指数（TOPIX、東証規模別株価指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証株価指数（TOPIX）、東証規模別株価指数に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数（TOPIX）、東証規模別株価指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。
- S&P500種指数は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCまたはその関連会社の商品であり、これを利用するライセンスが委託会社に付与されています。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLC、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズLLCまたはその関連会社は、いかなる指数の資産クラスまたは市場セクターを正確に代表する能力に関して、明示または黙示を問わずいかなる表明または保証もしません。また、S&P500種指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

照会先
アセットマネジメントOne株式会社

■コールセンター
0120-104-694 受付時間：営業日の午前9時～午後5時

■ホームページアドレス
<http://www.am-one.co.jp/>

投資信託のリスクと費用について

投資信託は、商品によりその投資対象や投資方針、申込手数料等の費用が異なり、多岐にわたりますので、当該商品の目論見書、契約締結前交付書面等をよくお読みになり、内容について十分にご理解いただくよう、お願いいたします。

投資信託の取引にかかるリスク

- 主な投資対象が国内株式
組み入れた株式の値動きにより基準価額が上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。
- 主な投資対象が円建て公社債
金利の変動等による組み入れ債券の値動きにより基準価額が上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。
- 主な投資対象が株式・一般債にわたっており、かつ、円建て・外貨建ての両方にわたっているもの
組み入れた株式や債券の値動き、為替相場の変動等の影響により基準価額が上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。

投資信託の取引にかかる費用

各商品は、銘柄ごとに設定された購入又は換金手数料（最大税込4.40%）および運営管理費用（信託報酬等）の諸経費をご負担いただく場合があります。また、一部の投資信託には、原則として換金できない期間（クローズド期間）が設けられている場合があります。

- お買付時にお客様に直接ご負担いただく主な費用
「買付手数料」：ファンドによって異なります。
- 保有期間中に間接的にご負担いただく主な費用
「ファンドの管理費用（含む信託報酬）」：ファンドによって異なります。
- ご換金時にお客様に直接ご負担いただく主な費用
「信託財産留保額」「換金手数料」：ファンドによって異なります。

買付・換金手数料、信託報酬、信託財産留保額以外にお客様にご負担いただく「その他の費用・手数料等」には、信託財産にかかる監査報酬、信託財産にかかる租税、信託事務の処理に関する諸費用、組入有価証券の売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息等がありますが、詳細につきましては「目論見書」で必ずご確認くださいませよう願いたします。

また、「その他の費用・手数料等」については、資産規模や運用状況によって変動したり、保有期間によって異なったりしますので、事前に料率や上限額を表示することはできません。

投資信託に関する情報提供について

- 楽天証券株式会社がウェブページ上で掲載している投資信託関連ページは、お取引の参考となる情報の提供を目的として作成したものであり、投資勧誘や特定銘柄への投資を推奨するものではありません。
- 各投資信託関連ページに掲載している投資信託は、お客様の投資目的、リスク許容度に必ずしも合致するものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- 各投資信託関連ページで提供している個別投資信託の運用実績その他の情報は、当該投資信託の今後の運用成果を予想または示唆するものではなく、また、将来の運用成果をお約束するものでもありません。

(楽天証券分類およびファンドスコアについて)

● 楽天証券ファンドスコアは、「運用実績」を一定の算出基準に基づき定量的に計算したもので今後の運用成果を予想または示唆するものではなく、将来の運用成果をお約束するものでもありません。最終的な投資判断は、運用コスト、残高の規模、資金流入額、運用プロセス、運用体制等を考慮し、お客様ご自身でなさるようお願いいたします。

● 情報提供：株式会社QUICK

各投資信託関連ページに掲載している情報（以下「本情報」という）に関する知的財産権は、楽天証券株式会社、株式会社QUICKまたは同社の情報提供元（以下三社を合わせて「情報提供元」という）に帰属します。本情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではなく、これらの情報によって生じた損害について、情報提供元は原因の如何を問わず一切の責任を負いません。本情報の内容については、蓄積・編集加工・二次加工を禁じます。また、予告なしに変更を行うことがあります。

免責事項

本資料は、将来の株価変動等を予測し保証するものではありません。また、有価証券の取引その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。記載された情報の正確性について万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。本資料及び資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料及び資料にある情報の使用による結果について、当社は何ら責任を負うものではありませんのでご了承ください。

資料に記載している価格、数値、金利等は、諸情勢により変化し実際とは異なる場合がございます。また、お取引を締結する際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございませんので、予めご了承下さいませお願い申し上げます。

楽天証券の各取扱商品等に投資いただく際は、所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。また各取扱商品等は、価格の変動等によって損失が生じるおそれがあります。投資にかかる手数料等およびリスクについては、楽天証券ウェブサイトの「投資にかかる手数料等およびリスク」ページや「契約締結前交付書面」等をよくお読みになり、内容について十分にご理解ください。

投資信託は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります（ファンドごとのリスクは異なります。必ず、各ファンドの目論見書にてご確認ください）。投資信託をご購入の際は、あらかじめ最新の投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ず内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。投資信託のお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。なお、投資信託は預貯金とは異なります。ご購入時には各ファンドごとに設定された所定の手数料がかかります。

<金融商品仲介業者の商号等>

商号等：株式会社Good Moneyger

登録番号：関東財務局長（金仲）第786号

<所属金融商品取引業者の商号等>

商号等：楽天証券株式会社/金融商品取引業者関東財務局長（金商）第195号/商品先物取引業者

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

お申込みにあたっては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）を必ずご確認ください。

■ 投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込みは

Rakuten 楽天証券

商号等：楽天証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号
加入協会：日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

■ 設定・運用は

 **アセットマネジメントOne**

商号等：アセットマネジメントOne株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第324号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会